

2017年4月19日

日本ユニシス、ディサークル

鳥取銀行が働き方改革の基盤として「POWER EGG」を採用

－意思決定の迅速化とペーパーレスの促進を実現－

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：平岡 昭良、以下 日本ユニシス）とディサークル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：西岡 毅、以下 ディサークル）は、株式会社鳥取銀行（本店：鳥取県鳥取市、頭取：平井 耕司 氏、以下 鳥取銀行）から、日本ユニシスとディサークルが提供するポータル型グループウェア、ワークフローシステム「POWER EGG（パワーエッグ）」の採用決定を受けました。

■「POWER EGG」導入の目的と期待される効果

鳥取銀行は、既存業務のペーパーレス化および業務手順見直しを行い、「働き方」を変えることで、生産性向上を進め、経費削減および業務時間短縮を推進することを目的に、「POWER EGG」の採用を決定しました。

1. **スピードアップ**
意思決定の迅速化、指示内容・期限の徹底
2. **見える化**
行内情報の見える化/共有による「気づき」や「協業」の促進、円滑な業務遂行
3. **ペーパーレス化**
年間約1万件ある各種書類（各種稟議/報告書/リーガルチェック等）の回覧や決裁の電子化による業務円滑化とペーパーレス化

■今後の展開について

鳥取銀行では、平成29年8月より「POWER EGG」の本部内での試行を開始し、平成29年9月までに本部営業店全店での本稼働を目指しております。



鳥取銀行は、平成27年度から平成29年度までの3年間を計画期間とする中期経営計画「考動と開革Ⅱ27-29」を策定し、平成27年4月よりスタートしております。本計画では、「地方創生への積極的な関与」「お客さま満足度の向上」「地域と当行の将来を担う人財の育成」という3つの基本方針のもと、急速な少子高齢化や人口減少などの環境変化に的確に対応し、お客さまとの関係や地域との連携を強化することで「お客さまの明るい未来と活力あふれる地域を創造する銀行」を目指されています。

今後も日本ユニシスとディサークルでは、今回の鳥取銀行での実績をもとに、POWER EGGの地域金融機関への展開をさらに加速させていく予定です。

以上

(補足情報)

■「POWER EGG」(パワーエッグ)について <http://www.d-circle.com>

POWER EGG は、統制強化と業務生産性の両立を図る上場企業や中堅企業を中心に、「気づき」を促すプッシュ型ポータル機能やワークフロー機能などを提供しています。最近では、地域金融機関における導入実績も堅調に増加し、2017年3月末時点で、1,206社(自治体:78団体 地方銀行10行を含む)約353,000ライセンスの販売実績となり、国産ポータル型グループウェア、ワークフローシステムとして高い評価を受けています。

■ディサークルについて

ディサークル株式会社は、「気づき」から「行動」を促すポータル型グループウェア「POWER EGG」を開発・販売することを目的に1999年に設立されました。金融・民間企業を中心に「お客様の業務生産性向上」をメインテーマに、マーケットニーズを的確に掴んだ製品開発を目指し、お客様にとって確実に導入効果が得られる製品「POWER EGG」を2000年より販売しています。

■関連 URL (日本ユニシス Web サイト)

銀行・信用金庫向け業務改革支援ソリューション「POWER EGG」

<http://www.unisys.co.jp/solution/lob/fs/poweregg/>

2017年1月26日 日本ユニシス、ディサークル POWER EGG が大分銀行で稼働開始

http://www.unisys.co.jp/news/nr_170126_power_egg.html

2016年8月1日 日本ユニシス、ディサークル 筑邦銀行が POWER EGG の採用を決定

http://www.unisys.co.jp/news/nr_160801_power_egg.html

2016年2月25日 日本ユニシス、ディサークル POWER EGG ワークフローが十八銀行で稼働開始

http://www.unisys.co.jp/news/nr_160225_power_egg.html

※POWER EGG は、ディサークル株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。